



2010(平成22)年 3月31日

# 第10号

●発行 空芸高田市高宮町  
下佐振興会  
●編集 広 報 部

世帯数…163

## ふれあいの里 しもさ

### 下佐賛歌

おはよごと  
朝がくる

空気も風もおいしいな

一、二、三、と足腰リズム

小鳥も目覚めて

応援歌

下佐の歌を

うたってる



こんにちとはと

みんなが集う

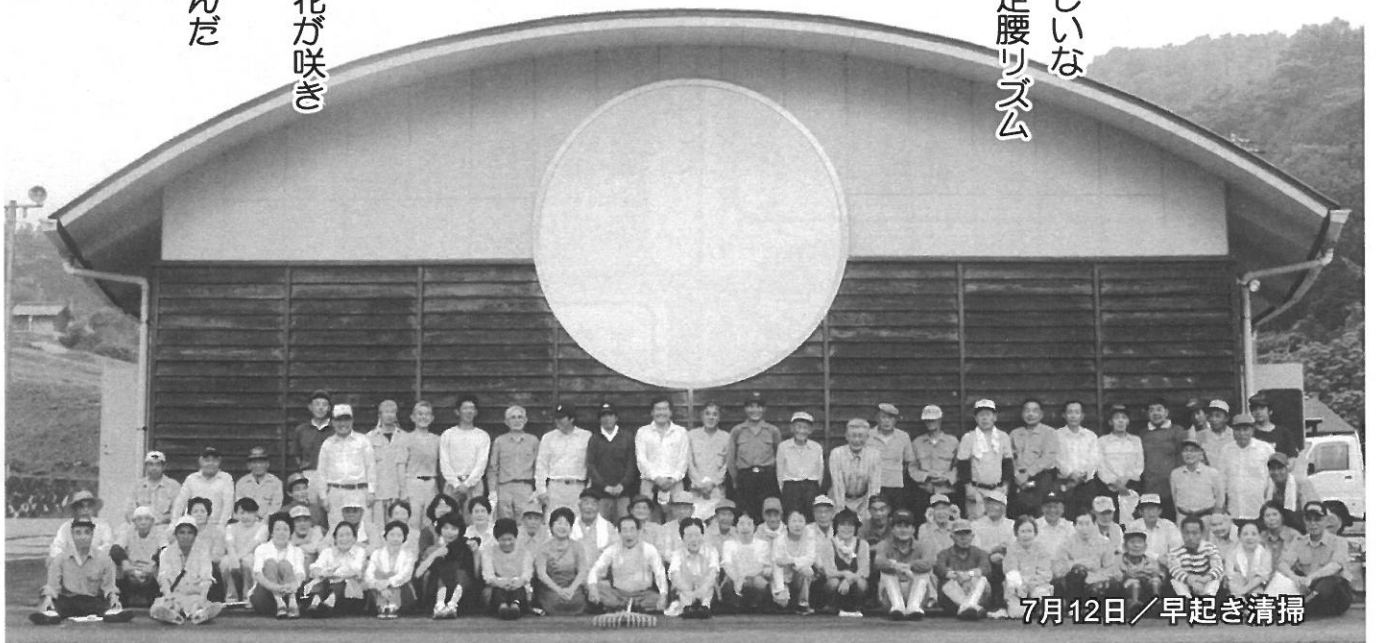
広場にえがあの花が咲き

元氣と力働く手

強い絆で生きるんだ

ほんとどうだい

下佐が光る



7月12日 / 早起き清掃

ごあいさつ

「支え合う地域社会を目指して」

下佐振興会副会長

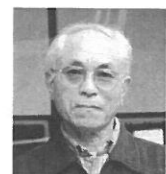
(総務担当) 菊野 正之



昨年六月永井会長が急病で倒れられたため、私たち四人の副会長が分担して、今日まで会長の代理を勤めて参りました。力不足の会長代理ではありましたが、役員の方々の温かいご理解と、今年度の事業を全て計画通り終えることができました。心から厚くお礼申し上げます。特に正月の新年互礼会や夏の早起き清掃会、健康づくり朝の集い、グランドゴルフ大会、下佐の夏祭り、また秋の敬老会、下佐のはしか落とし、駅伝競走大会など沢山の行事に多くの皆さんが参加して下さい、和気あいあいの楽しい雰囲気の中で各行事を終え、大きな成果をあげることができました。また、集落で取り組んで戴いたミニサロンも好評で、一段とふれあいの輪を広げることができました。重ねてお礼申し上げます。

さて、いま各地で多くの振興会が活動されていますが、これをみますと、大きく分けて二通りあります。一つは地域の生活環境つまり道路や公園などを整備するハード型の振興会。他の一つは、人のふれあいを活動の主眼とするソフト型の振興会です。私達の下佐振興会は後者にあたる振興会で、会員相互のふれあいを通して、支えあう地域を創ることを目指しています。

高齢化が進み、独居世帯が増える下佐地域においては、「互いに助け合い支え合う」地域づくりが急務であります。昔「向こう三軒両隣り」という言葉がありました。今一度この精神に立ち戻り、隣近所、集落、地域それぞれで力を合わせ支えあって、安心して暮らせる地域を創って行かなければならないと思います。下佐振興会はその先導役を勤める温かい振興会になればと願っています。



副会長(文化部担当)  
上代 修三

「光陰矢の如し」この言葉を痛切に感じた一年でした。振り返ってみると、八月十五日の「下佐納涼夏まつり」、雨のため屋内での夏まつりとなったこと、又、十月二十五日の「高宮大地の祭り」、案山子コンクールへの出展準備に力を合わせたこと等々…。



下佐振興会会長  
永井 光宣



副会長(体育部担当)  
石樫 昭

長いようで短い二年間でした。色々な行事を会員のみならずの協力により、感動の中で終えることができました。会員・役員が一丸となれば、どのような事でもできると思えました。僕のこの二年間の思い出は、特に敬老会の楽しい思い出があります。僕も、もう少しです。それまで元気で頑張ってください。今年向原町坂中振興会から下佐に視察にこられ、僕が思ったことは「振興会は女性部の力があるからいろいろ行事が出来るのだ」ということでした。役員として十分に役目を果たせなかったかとおもいますが、みなさんありがとうございました。



副会長  
(女性部担当)  
(厚生部担当)  
坂本 ちかこ

無力の私ですが、女性部、厚生部と担当させて頂き、ご迷惑をおかけした事と思えます。それでも声掛けさせて頂いて、時には、気持ち良く誘い合っていて、協力下さり感謝しております。これからは、永井会長の持つておられるあたたかいパワ―を見習って、多くの方とふれあい、元気な下佐になればと願っています。一年間ありがとうございました。



会計  
新田 俊晴

突然、金銭感覚がいい加減な私が、会計という大役を無謀にも引き受けて、はや三年がたちました。この間大変ご心配をおかけしたことを思います。何とかやりくりしてきました。私にとっては、有意義な経験をさせていただき、皆様のご協力で感謝いたします。ありがとうございます。



事務局  
中上 裕士

皆様のご協力のお陰で、曲がりなりにも無事終えさせて頂き、有難う御座いました。私が感じたのは、振興会の行事が少し多いのではないかと思えます。今後、楽しく参加出来る行事は残して、皆さんの負担がかかるものなどを、少し減らしたら良いのではないのでしょうか。

総務部



2010.1/17 新年互礼会



総務部長  
持丸 利行

今号で表紙を飾っています「早起清掃」を初め、はしか落し、新年互礼会は総務部の大きな行事です。各行事とも多くの皆様に参加して頂き、和気あいあいの中、楽しく語り自分のこととして取り組んでおられる姿をみて、ありがたいことと皆様に支えられた一年を振り返る所です。下佐振興会の「ふれあいと助けあい」をモットーに、これからますます下佐が一団となり、発展することを願っております。

文化部



8/22 高宮納涼盆おどり



文化部長  
藤川 操

早いもので一年が過ぎました。その間、数多い行事をみなさんのご支援、ご協力により、大任を終えることができました。これも一重に各役員さんの手腕により、達成できたと思っております。ありがとうございます。

体育部



体育部長  
深井 智明

毎年開催される市、町のスポーツ大会への参加も困難な地域もありますが、下佐も例外でもありません。駅伝大会も40回と長く続き、参加できるのも地域の皆様のご協力、ご声援のおかげでございます。夏には恒例のラジオ体操、グラウンドゴルフに子供からお年寄りまで多数参加いただきまことにありがとうございます。

12/6 高宮駅伝競走大会



女性部



女性部長  
竹谷 るみ子

一年間大変お世話になりました。皆様のおかげで、支えられ、迷惑をかけながら、なんとかやって来られました。なかなか振興会活動に参加できなかった私が、地域の皆様に出会う事ができ、楽しく、うれしい一年を送る事ができました。ありがとうございます。

7/18 女性のつどい



厚生部



厚生部長  
信上 芳

いろいろな事を経験した一年間でした。今まで話をしたことがないような方にも、やさしく指導していただき、なんとか厚生部の仕事をやりきることができました。不慣れで、経験もなく、皆様に大変ご迷惑をかけたと思えます。一年間有難うございました。

9/20 敬老会





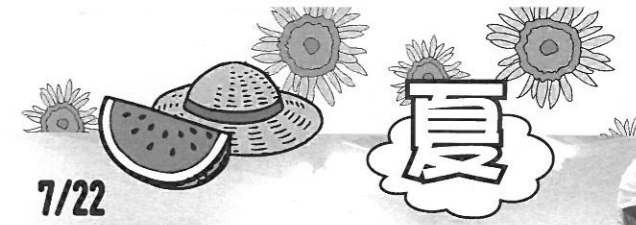
12/6 高宮駅伝競走大会



11/15 はしか落し



# みんなで創った 下佐振興会の一年



## 夏

7/22 男性料理教室



7/18 ぴんぴんいきいき体操

8/21~22 こども会合宿



6月 フラワーロード



7/12 早起き清掃



12月 下佐の入口へ大門松設置



12/6 高宮駅伝競走式敷中継所

## 春



2010年 輝かしく、スタート

2010. 1/17 新年互礼会



2010. 1/17 新年互礼会



来賓席

とーしの初めの  
ためしーとて

2010. 1/31 坂中振興会視察



2010. 3/7 文化祭



9/20 敬老会  
いつまでも長生きしてくださいね



10/25 大地のまつり

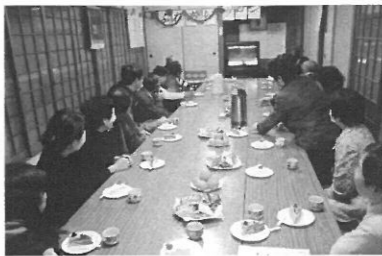


10/25 大地のまつりかかし銀賞

## 秋

# 大地のまつり





下式敷ふれあいサロンは、七月十九日、この春赴任して来られた川根駐在所の森滝さんをお招きして、県北で起きた事件や詐欺被害などの対策を学びました。その後、市役所の永岡さんが「介護サービス」について資料やパンフでわかりやすく説明して下さい、有意義な時間を過ごすことが出来ました。十二月二十三日のサロンは、この年最後のサロンとあって、二十三名参加して下さいました。綾小路きみまろ「爆笑エキサイトビデオ」の観賞をしました。日頃大きな声で地域の方と笑つ機会も少なくないました。ビデオを囲んで皆で大爆笑し、あつという間に時間が過ぎたように感じられ、下式敷の和がさらに深まったと思います。

野部ふれあいサロン 代表世話人(区長) 河内 貞好



野部のふれあいサロンは、年二回行っています。夏はソウメン流し、冬は正月のしめ縄作りが恒例となつています。いづれも子どもからお年寄りまで集まつてのサロンです。特に夏のソウメン流しでは家族ぐるみで集まり、みんなで手料理を作ったり、竹で流し桶や食器を作ったり、笑いの絶えない回響のサロンになっていきます。

### ふれあいサロン



信木・所木ふれあいサロンについて簡単に述べさせて頂きます。先ずは信木・所木活性化組合を立ち上げました。第一回総会の中で皆さんで何か作ろうということになり、初めに炭焼き窯を造りました。次に下佐こども会に呼びかけてシイタケ菌の打ち込みをし、各自二〜三本持ち帰ってもらいました。その後は、組合員で年二回集まり盆前には灯笼づくり、年末には注連縄飾りと現在まで続いているところです。各集まりの中で最後は親睦懇親会ということで、みんな楽しい一日をすごしております。これから先皆さんの中で、これをやってみたら、ということがありましたらご連絡下さい幸いです。

上式敷ふれあいサロン 世話人 戸田 次三



上式敷ふれあいサロン、時2009年9月1日、10時30分〜13時場所上式敷集会所、参加者22名。サロンは稲刈りの始まる頃に行われたが、思いの外(これは失礼)多数の方のご参加を頂き、とても嬉しかった。市役所の3名の方からゴミ処理とデマンドバスの説明を受けた。最近、過疎、少子高齢化が要因とみなされる限界集落のことをよく視聴するが、この事業が軌道にのれば、限界集落化に少しは歯止めがきくのではないかと、期待を抱いた時であった。

### 産地化野菜への挑戦

下式敷 平田 誠也




政権はあれど日本経済は依然として回復の兆しがみえず、農業経営にも厳しいこの頃です。農家後継者であり乍ら兼業農家を選び、長年勤務を許して貰った会社を一昨年退職した。老後は健康に留意し乍ら、趣味の世界に水稲は片手間程度と思つていた。しかし乍ら、我が家の反別では水稲だけでは経営は成り立たず、減反施策がはじまり、二〜三年に一度は江ノ川の氾濫で他作物は諦めていたが、近年水没がなさんに気づき、農協指導員さんに相談したところ、白ネギ栽培を勧められ三反の圃場に栽培を決心した。野菜作り一年生、指導通りの土づくりをする。トラクター、テトラ、倉庫で眠っていた耕運機、溝上機が大活躍。苗の定植時期に雨がなく、からの土に定植。ホース等で散水、水のいらぬ時期に長雨、病虫害、雑草と戦う毎日が続いた。農薬は最小限使用に指導を受けるので、耕運機、テトラ等をフルに動かす。一喜一憂し乍らも目標がある事で、毎日充実感を覚えた。病虫害もお陰で指導員さん、白ネギ栽培の先輩さんの御指導で最小限に止める事が出来、収穫期を迎えた。わくわくしながらも、出荷の準備をする。集荷場での栽培仲間との交流も楽しく、小生の糧になつていようと思う。雪が降り、葉先が折れて商品にならず産直市行き、価格等で課題はありますが、長い見方で魅力ある農業にしたいものです。七十過ぎでの挑戦であります。




写真はイメージです

### 第21回 たかみや人権文芸賞 入選作品の紹介 標語の部



いじめのなや 笑顔の世界は 自分から


高宮中学校三年生 永井 菜穂



おとうさん ところがほかほか かたぐるす

船佐小学校一年 上川 愛加

### 第11回 青少年育成推進標語 特別賞



ぎゅつとされ うれしさ半分 てれ半分

船佐小学校二年 大番 琉七

### 感想文の部 【救助犬ベア】 船佐小学校四年生 信上 柚乃



はなげベアとハニーは訓練をしないといけないのかということですが、でも本を読み進めていくと、救助犬ということがわかりました。そして救助犬というのはどういう仕事をする犬のことだろうと疑問に思いました。そこで調べてみると、救助犬というのは人を助ける犬のことだとわかりました。でもなぜ犬が人を救助しないといけないのかということや、人間が救助をすればいいのにも思いました。

その理由は、犬は人間より小さいので、しんどそうだとおぼやかりました。救助犬は、一びきで海に飛び込むので、とてもゆう気があると思います。しかも、大人一人を犬一びきで助けているから、とても力持ちだと思いました。小さいのにおぼれている大人の服をかんで、すなはままで運ぶからすごいと思いました。

ベアのかい主の名前はスコット・シールズさんです。

わたしは、スコット・シールズさんのことをやさしいと思いました。それは今まで教えてきたことがやっとなってきたときすくほめてあげるから

この本は、救助犬ハニーという子犬が大きくなってベアという子犬を産みともに救助犬になるお話です。


わたしが一番最初に思ったことは、なぜベアとハニーは訓練をしないといけないのかということですが、でも本を読み進めていくと、救助犬ということがわかりました。そして救助犬というのはどういう仕事をする犬のことだろうと疑問に思いました。そこで調べてみると、救助犬というのは人を助ける犬のことだとわかりました。でもなぜ犬が人を救助しないといけないのかということや、人間が救助をすればいいのにも思いました。

その理由は、犬は人間より小さいので、しんどそうだとおぼやかりました。救助犬は、一びきで海に飛び込むので、とてもゆう気があると思います。しかも、大人一人を犬一びきで助けているから、とても力持ちだと思いました。小さいのにおぼれている大人の服をかんで、すなはままで運ぶからすごいと思いました。

ベアのかい主の名前はスコット・シールズさんです。

わたしは、スコット・シールズさんのことをやさしいと思いました。それは今まで教えてきたことがやっとなってきたときすくほめてあげるから

### エッセイ いとしきしもさ 前門戸 弥生



下佐の住人になって二十六年が経ちました。昔からこの地に住んでいらつしやる先輩諸氏に比べたらまだ二十六年ですが、されど二十六年で様々な事がありました。圃場整備がなされ、下佐コミュニティセンター・式敷駅舎・上式集会所などの新築、とりわけ県道が立派になりました。

当然きえたものも多く、畑田・北小学校校舎・民家・郵便局・商店・彼岸に発たれた方々、昆虫や草花などの中にも姿を消したのもあります。しかしすべて消えたわけではなく、自然はまだ残っております。わたしがこの地に住んでよかったことは、やはり豊かな自然に触れたことです。

早春に出る露のつとつと、蓬をつんで草もちをつくるうれしさ、絶滅危惧類に指定されている「ホソバナコバイモ」を見つけた時の驚き、「ニヨイスミシ」が裏山の日にだまりに溢れる喜び、夏は「スイカズラ」が白から金色になる不思議を思い、どくだみの清らかな花に癒され、秋になれば彼岸花、秋明菊、ノコンギク、向かいの山の紅葉、冬は水墨画の世界となる田舎の良さを確認しております。

豊かな自然がいつまでもつづいてほしいものです。後継ぎが途絶え雑草刈りができなくなるだろう先の事を考え無情を感じますが、今、出来ることに励んで精一杯生きられたらいいなと思つている昨今です。

幾人の百姓の汗浸し土 埋むる峽に 新道伸びる

下佐の住人になって二十六年が経ちました。昔からこの地に住んでいらつしやる先輩諸氏に比べたらまだ二十六年ですが、されど二十六年で様々な事がありました。圃場整備がなされ、下佐コミュニティセンター・式敷駅舎・上式集会所などの新築、とりわけ県道が立派になりました。

当然きえたものも多く、畑田・北小学校校舎・民家・郵便局・商店・彼岸に発たれた方々、昆虫や草花などの中にも姿を消したのもあります。しかしすべて消えたわけではなく、自然はまだ残っております。わたしがこの地に住んでよかったことは、やはり豊かな自然に触れたことです。

早春に出る露のつとつと、蓬をつんで草もちをつくるうれしさ、絶滅危惧類に指定されている「ホソバナコバイモ」を見つけた時の驚き、「ニヨイスミシ」が裏山の日にだまりに溢れる喜び、夏は「スイカズラ」が白から金色になる不思議を思い、どくだみの清らかな花に癒され、秋になれば彼岸花、秋明菊、ノコンギク、向かいの山の紅葉、冬は水墨画の世界となる田舎の良さを確認しております。

豊かな自然がいつまでもつづいてほしいものです。後継ぎが途絶え雑草刈りができなくなるだろう先の事を考え無情を感じますが、今、出来ることに励んで精一杯生きられたらいいなと思つている昨今です。

幾人の百姓の汗浸し土 埋むる峽に 新道伸びる



# 2009年度 下佐振興会行事



月 日	行事内容	月 日	行事内容
2009年6月中旬	下佐フラワーロード花植え	9月 1日	上式敷サロン
6月22日	いきいきクラブ高宮びんびん体操	9月12日	私モ歌王会
7月 5日	消防査閲	9月20日	敬老会
7月10日	私モ歌王会	10月 4日	ソフトバレーボール大会
7月12日	コミュニティーセンター早起き清掃	10月 9日	私モ歌王会
7月18日	女性部によるびんびんいきいき体操	10月25日	高宮大地のまつり
7月19日	下式敷サロン	11月15日	はしが落し
7月20日	子ども会研修旅行	11月20日	私モ歌王会
7月22日	男性料理教室	12月 6日	第40回高宮駅伝競走大会
7月30日	信木サロン	12月12日	私モ歌王会
8月 2日	第20回町民健康づくり朝のつどい	12月23日	野部サロン
8月 2日	グランドゴルフ大会	12月23日	信木・所木サロン
8月 2日	野部サロン・信木・所木サロン	12月23日	下式敷サロン
8月 7日	私モ歌王会	2010年1月10日	野部地区トント
8月14日	高宮町民ゴルフ大会	1月10日	信木地区トント
8月15日	下佐夏まつり	1月10日	式敷・所木地区トント
8月21日～22日	下佐こども会合宿	1月17日	新年互礼会
8月22日	高宮納涼盆おどり	2月 7日	宕芸高田市市民フォーラム
8月29日	第31回高宮町こども会ソフトボール大会	3月 7日～14日	高宮文化祭
		3月 7日	宕芸高田市消防出初式

※毎週水曜日バワフル教室が開催されました。

※1月31日、向原町・坂中地域振興会の方18名が来所され、コミュニティーセンターで研修会を行いました。

※カメラ教室ははしが落し、高宮文化祭に作品を展示発表しました。

※ゲートボールチームは、大会毎に参加活躍しました。

## 花掘 うつくしい下佐



■下佐コミュニティの屋根 下佐カメラ教室 石樵 譲二さん撮影

- 石井 正巳さん (93才)
- 石井 和子さん (63才)
- 宮崎 明浩さん (29才)
- 小谷 實男さん (79才)
- 片岡 正子さん (85才)
- 花崎 初子さん (93才)
- 有本 ヨシコさん (81才)
- 瀬川 年幸さん (78才)
- 上川 和哉さん (24才)
- 田中 松夫さん (99才)

### おくやみと 篤志のお礼

■表紙「下佐賛歌」作詞者は 所木の佐々木知江さんです。

ご遺族様におくやみ申し上げますと共にご寄付を頂きまして厚くお礼申し上げます。

### 編集後記

「お父さん、お母さん。俺がいままで身を固めず、待ちよつた時がとうとうきたがじゃ。すんぐに高知を離れるぜよ」今年の大河ドラマ「竜馬伝」は、土佐弁のおもしろさも加わり視聴率22.23%を推移している。

上士の横暴に一言の言い分も通せない下士である身分の悔しさ：「この国なんとかせにやいかんぜよ」同志である岩崎弥太郎（三菱財閥を築く）の捨て身の支援を受け、新しい時代を築こうとした竜馬：毎週日曜日ドラマを楽しんでいる。

バンクローパーでは、浅田真央と韓国のキムヨナの熱戦の火蓋が切られた。生れは、二人とも1990年9月何とも奇妙な運命の出会い。これからも両者実力を出し切って戦ってほしい。

竜馬と浅田真央を同時に考えるのは、「ちくとおかしいけど」運命の時代に生まれ、身を投じなければならなかった運命の人。

竜馬は、のち、寺田屋で会津藩士に倒されるが、意思は引き継がれ竜馬の目指した自由の国日本は築かれた。

（モッチ）  
広報しもさの発行に原稿をお寄せ頂いた沢山の方々、ご指導頂いた方々ありがとうございました。

これまで暖かく守って頂いた永井会長、ご意思をつないでこれからも広報誌を発行していきたいと、改めて気を引き締めています。これからも折に触れご意見を賜りますようお願いいたします。

編集委員一同